

雑穀メニューに親しむ

市内の小中学校全30校で1月30日、花巻特産の雑穀を使用した給食が児童生徒に提供されました。  
 全国学校給食週間に合わせた取り組みとして、雑穀の地産地消の推進と学校給食の充実を目的に実施。子どもたちは「黒米(古代米「こはん」)のほか、花巻産のヒエを使い商品開発された「ひえカレールー」で作った豚汁を味わいました。  
 中村季君(南城小2年)は「とてもおいしかった。家やお店でも食べてみたい」と喜んでいました。



雑穀メニューを味わう南城小の児童。「おいしいね」と笑みがこぼれていました

伝統を未来に子どもたちが熱演

「躍動する芸能まつり」が1月25日、東和総合福祉センターで行われました。  
 郷土芸能の伝承に取り組み8団体の子どもたちが神楽や鹿踊、さんさ踊りなどを披露。力強い和太鼓の演奏や、おはやしに合わせた堂々とした演舞に、会場から大きな拍手が送られていました。  
 同まつりは、地域の伝統文化の担い手として活動している子どもたちに、自信や誇りを持ってもらおうと東和町芸術文化協会が主催。躍動感みなぎる熱演に、詰め掛けた観客は魅了されました。



清流田瀬子ども太鼓の皆さん。和太鼓の迫力のある音を響かせていました

長靴でリンクを駆ける

「第17回長ぐつアイスホッケー大会」が2月1日、石鳥谷アイスアリーナで開かれました。  
 スケート靴の代わりに長靴を履いてプレーする「長ぐつアイスホッケー」。石鳥谷地域の地区対抗で行われ、参加した6チームが氷上ならではの熱戦を繰り広げました。ツルツル滑る足を気にしながらも、ポールを追ってリンクを縦横無尽に駆け回る選手たち。バランスを崩して尻もちをついたり、豪快にシュートしたりする姿に、会場から大きな歓声が上がっていました。



長靴を履き、スティックを手に氷上でボールを追い掛ける選手の皆さん

賢治ぎのみ まちづくり

第34回

賢治ゆかりの地 東和・土沢

賢治は、何度か東和地域を訪れており、土沢の縁日を題材とした詩「冬と銀河ステーション」を残しています。

「ぶらさがった章魚を品さだめしたりする／あのにぎやかな土沢の冬の市日です」(詩「冬と銀河ステーション」)

この詩に詠まれた「土沢の冬の市日」は、当時町の中心部の道路沿いで開かれていました。一時は途絶えましたが、平成6年に復活し、現在は毎月第1・3日曜日の朝、土沢商店街の公共無料駐車場(通称アイリス駐車場)で「つちざわ市日」として開催されています。  
 市の東部にある土沢は、釜石街道、花巻・遠野間の中間に位置し、かつては近隣の村々



▼市役所東和総合支所駐車場にある「冬と銀河ステーション」の詩碑



▲「つちざわ市日」は毎月第1・3日曜日の朝、開かれています

へ道が分岐する交通の要所であり、岩手軽便鉄道(現在のJR釜石線)も通っていました。賢治もにぎわう市日へ立ち寄ったのでしよう。釜石街道のことを、詩の中で「パッセン大道」と呼んでいます。  
 平成20年には、市役所東和総合支所駐車場に「冬と銀河ステーション」の詩碑が建てられました。

【問い合わせ】  
 本庁賢治まちづくり課  
 (☎)24・2111内線365

わたしたちの地域づくり

先人の方々の知恵と 努力の賜物ここに集結

明日の小山田を考える会では、「住んでいる人が誇れる郷明日の小山田の創造」を目指して地域づくりを進めています。

小山田地域の一大プロジェクトとして、平成19年度に明日の小山田を考える会教育振興部の中に「小山田地域歴史編さん委員会」を立ち上げました。

この委員会は、小山田地域の古代・中世・近世・近代の歴史や産業、文化を総覧し、後世に残すべく、小山田地域の歴史書の完成を目指し取り組んできたものです。

小山田地域は宮大工の「小原樗山」、教育者で政治家の「二ノ倉貫一」、オペラ歌手としてイタリアのミラノで活躍した「伊藤敦子」など、たくさん偉人を輩出した地域でもあります。その先人の方々の

明日の小山田を考える会

知恵と努力の賜物を編さん委員となった故浅沼昭一委員長をはじめ13人の方々が、幾多の打ち合わせを重ね、資料収集や編集作業に尽力。「平成おやまだ村誌」がこのたび完成しました。

平成27年度は、この村誌を活用した郷土史講座をスタートする予定です。

地域の歴史をたどり、それを後世に伝えていくことは、地域への愛着と誇りをもち、地域づくりのための一体感の醸成には欠かせないものだと確信しています。



1,160ページにわたり小山田地域の歴史がつづられた「おやまだ村誌」

【問い合わせ】明日の小山田を考える会(☎)42・2941